

## 令和5年度第2回沖縄県地方創生推進会議 議事要旨

### 1 開催日時

令和5年11月1日(水) 10:00~11:50

### 2 場所

沖縄県三重城合同庁舎 8階 特別研修室

### 3 議題

(1) 沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画(沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略)における「重要業績評価指標(KPI)」の達成状況について  
「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画」の重要業績評価指標の達成状況について説明し、意見を求めた。

(2) 沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画(沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略)改訂素案について  
「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画」の計画改訂の考え方や改訂素案について説明し、意見を求めた。

### 4 議事要旨

(1) 沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画(沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略)における「重要業績評価指標(KPI)」の達成状況について

#### 【慶田委員】

コロナでやむを得ないので後退となっているKPI(博物館・美術館等の入場者数等)については、間違った印象を与える恐れがある。何かコメントを付け加えることはできないか。

#### 【山田委員】

コロナの影響を受けた博物館美術館、インバウンド、修学旅行については、やむを得ない状況だったと思うので表記の仕方を検討して頂きたい。

がん検診、飲酒が後退しているのが気になるが、全国平均と比較するなど何かコメントが書けるか検討して頂きたい。

**【崎間委員】**

令和4年度については、コロナもある程度落ち着いてきている時期だと思うが、後退となっているのは普及啓蒙が足りていなかったからではないか。コロナだけが理由ではないのではないか。受診率がずっと下がっている。

**【事務局】**

2022年の数字は2021年の実績となっており、この時はまだコロナのまん延防止措置や緊急事態などが出ていた時期の数字であると思っている。2022年になって大分上がったと聞かないので、県民の長寿についてずっと問題になっているが、その改善に向けた大きな課題であるのかなと捉えて取り組んでいきたい。

**【大城会長】**

基準値は出発点、目標値は達成しなければだめなのか、基準値より良くて目標値に近づいていけばよいのか、評価の仕方があいまいなので、次期の計画では評価の仕方を再度考えた方がよいのではないか。

**(2) 沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）改訂素案について**

**【慶田委員】**

計画を策定してから、計画の枠組みを大きく変えるのは今回が初めてか。また、現行計画には5つの将来像が記載されていたか。

**【事務局】**

「沖縄21世紀ビジョン」ということでは入っていたかと思うが具体的に5つの将来像を並べて書いているのは今回が初めて。

**【大城会長】**

本計画は、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」の個別計画とのことだが、新・基本計画からもってきたのか、それとも、ゆがふしまづくり計画だけの事業内容となっているのか。

**【事務局】**

ゆがふしまづくり計画は個別計画に位置付けられているため、基本的には新・基本計画の施策と整合を取る必要がある。それ以外に国のデジタル田園都市国家構想総合戦略、DX推進計画、離島振興計画などから地方創生に関わるところを取り入れた形となっている。

#### 【鈴木委員】

資料2、7ページの施策展開について、新計画で女性の活躍推進、男女の平等の表現がなくなっていて「仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり」の表現になっているが、女性の活躍推進についてわかりにくくなっている。

120ページの施策展開では、「女性社会参画の推進」についてKPIに男女の給与格差を入れるべきではないか。労働力の確保という点から女性の活躍についても経済力をつけていく取組が重要。

学童について、ベビーシッター事業を活用している事例もあると聞いている。経済力がないと働くことができないのでおもとの給与が重要だと考える。

#### 【山田委員】

施策1～4はDXが関わっているものがほとんどだと考えるが、これらの施策は、沖縄県DX推進計画によるデジタル実装が前提となっているのか。

#### 【事務局】

デジタル実装の基礎条件の整備を国が行っていくが、それとあわせて、沖縄県では「沖縄県DX推進計画」により関連の取組を推進していくという位置づけになっている。

#### 【慶田委員】

見直しの趣旨を計画の冒頭に入れて、計画の位置付けについて他の計画との関係を明確にしたほうがわかりやすいのではないかと。また、KPIを確認するときにもわかりやすい。

今回、新しく追加したKPIはあるか。あるのであれば追加したKPIがわかるようにしたほうがよい。KPIについては、数字だけでは見えない部分もあるので、KPIだけではなくインパクトのある事例を掲載してはどうか。KPIのトレーサビリティ、KGIの達成に向けたKPIのロジックモデルを作成すればどこが達成できなかったのか追跡することができるのではないかと。これは難しいので今後取り組んでほしい。また、各市町村への要請はどのようにするのか。

### 【事務局】

この計画は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、県・市町村は地方版総合戦略を策定するということが努力義務として書かれている。市町村においても国や県の計画を参考にして作っていくようにとの記載がある。実際、県の方で改訂中ですが、市町村の何か所からかは問い合わせを頂いている状況なので、情報共有をしながら、必要に応じて助言等出来ることをやっていきたい。

### 【鈴木委員】

素案の120ページの指標1「婚姻率」について、目標値が前回調査より上昇となっているが、目標値は数値を設けた方がよいのではないか。また、指標に「新規学卒者の就職内定率」を置いているが、この関係はどういった理由で取り上げたのか。それから、121ページの女性の社会参画の推進で、「女性の離職率」を指標に置いているが、社会参画なので、給与統計をきちんと取るべきではないか。給与であれば、女性男性の給与の格差を追いかけていくのは大切なことではないか。

### 【事務局】

一つ目の婚姻率に関しては、婚姻や出産というのは、個人の自由で尊重される部分であり、目標値として設定が難しいため前回の計画では目標値を設定していなかった。ただ、施策を推進する上で県として何かしら設定した方がよいということで、前回調査よりも上昇という形で記載した。また、新規学卒者の就職内定率だが、こちらも現計画と同じようにKPIを設定している。理由としては、雇用の不安定さが収入の低さから結婚を躊躇する若者も多い状況を踏まえ経済的な面からの対応という事で、数値を設定している。もう一つの女性の離職率については、県の実施計画からピックアップして数値を設定している。こちらの数値を別のものに検討するというのであれば、検討させていただく。

### 【高崎委員】

KPIと施策の対応が分かりにくいので、KPIと施策に番号を振るなど対応が分かるようにしてほしい。また、定量的なKPIだけでなく、定性的なKPIや対応する施策も必要だと思うので分かるように書き分けて頂きたい。

### 【大城委員】

子どもの表記を「こども」「子ども」「子供」それぞれの表記の使い方について統一・整理して頂きたい。

39 ページに「待機児童の解消に向けて」と記載されているが、こども園も増えているので、こども園についても記載してほしい。また、定員割れしている園もあるので施設整備ではなく「人材確保・人材養成」など保育士確保を推進して頂きたい。

#### 【鯨本委員】

資料 2 の 7 ページ【基本施策 4】を見ても足りないと思うのが、離島・過疎地域における子育てに関する記述。保育士不足が深刻なので、言葉として「子育て・保育の施策」について追加したほうがよい。

素案 29 ページ 12 行目、「高等教育機関」の魅力向上の表現は「教育環境」にしたほうが広く施策に対応できる。

#### 【慶田委員】

人材の養成とか離島の離島の交通を担う人材の育成が今後中長期的に重要になってくる。今後計画を改訂する際は、こういった着眼点をもって頂きたい。

#### 【山田委員】

資料 2、7 ページのスタートアップ支援について、最近ではスタートアップもそうだが、企業内起業家をどう育てるのかということに注目している。企業内起業家あるいはその事業を継承した 2 代目 3 代目が自分の引き継いだ事業で安定的な基盤を設けながら新しいチャレンジをすることへの支援についても書いて頂ければありがたい。

#### 【鈴木委員】

素案 47 ページ、122 ページの外国人材の受入環境の整備について、農業等で外国人材の受入は増えている中、労働環境の向上が重要だと思うが、この K P I では、労働環境がどうなったか分からない。質の改善が重要なので給与等の労働環境に関する指標を追加したほうが良い。

#### 【事務局】

K P I については、どのような数値を置くか等について少し検討させて頂きたい。

#### 【大城会長】

ゆがふしまづくり計画は 5 年計画になるが、将来人口の推計を 2060 年まで射

程を長くする意味があるのかどうか疑問。以前は沖縄県人口増加計画で 200 万人までもっていきますという計画が裏にあったので、推計についても大きな意味があったのだと思うが、今の計画は人口増加計画では無くなってきているので、改めて検討してみても良いのではないか。

#### 【事務局】

今回の人口展望については、国の人口ビジョンを踏まえ、2060 年まで設定している。

#### 【慶田委員】

基本施策 2 では、DX などで効率化をしないと生産年齢人口の減少をカバー出来ないということを見える化したほうがよい。

基本施策 4 で離島は特出ししているが、今後は離島の離島のところまで人口の動態を見える化していく必要がある。

#### 【鯨本委員】

離島の人口については、全国と同様に今後減少していく。112 ページでも書かれているが、海士町の事例では、教育機関の魅力化及び、交流人口、関係人口に関する取り組みを行うことで、卒業した生徒が戻ってくるなど、15 年程で人口が回復してきているので、沖縄県も離島の施策にも取り組むことで、離島の人口減少も覆すことが出来ると思う。

#### 【鈴木委員】

素案の 58 ページ、80 ページ、K P I の 124 ページ、130 ページに記載してある企業版ふるさと納税について、素案に書かれている趣旨と K P I の冒頭に書かれている目的の因果関係が少し離れている感じがする。また、目標値について「前回調査より増加」となっているが、件数や金額等を記載すべきだと思う。

全国版の事例を見ると、10 億単位で寄付が集まっているので、発展性のある活用のされ方、PR の方法等を考えて頂きたい。

#### 【大城会長】

人口のところで、2060 年までというトータルの話ではなく、基本施策の関連する人口の所を抜き出して書いた方が良いと思うので検討して頂きたい。

K P I は指標によっては直ぐに結果が出るものばかりではないので、設定がふさわしいかどうか検討する必要があると思う。

また、K P I については、評価の仕方が二つあるとあっていて、出発点から進

んでいるからいいということと、目標値にどこまで到達できたかという事を評価する必要があると思っている。その上で各年度の評価の仕方を検討してもよいのでは。または、目標値がここだったら途中経過としてこの辺までは行きたいという数値を記載する等の工夫が必要。

定性的な部分については、県が行っている県民意識調査等を活用して評価をするのも良いと思うので、検討してみてもどうか。

#### 【慶田委員】

今から新しくKPIを作るのは大変なので、AS・IS（現状）、ToBe（目標値）、Canbe（中間地点）を着眼として途中途中で評価していく方法もあるだろう。必ずしも数字だけにとらわれず、定性的な評価も必要かと思う。数字だけで追えない部分は、関連機関とも連携しまとめていった方が良いと思う。

#### 【鈴木委員】

KPI目標値の移住者等の受入促進で相談件数を出していますが、実績数値を入れた方が良いのでは。

#### 【鯨本委員】

企業版ふるさと納税については、県と企業をつなぐ中間支援ができる人材の育成が必要。

教育環境について、いわゆる非認知的能力については、離島の方が養われやすいこともある。離島を様々な先進事例となる可能性もあるのでそういったことも含めて計画を検討して頂きたい。